

ハート・プラス通信

身体内部に障害
があります



ハート・プラス
<http://www.normanet.ne.jp/~h-plus/>
Copyright © 2007 heart plus mark project. All rights reserved.

～内部障害者・内臓疾患者の暮らしについて考える～

2019年11月20日 No.49<秋号>

【配信元】NPO法人 ハート・プラスの会

【住 所】大阪府寝屋川市秦町41番1号市民活動センター内

【連絡先】事務局 E-mail : info@heartplus.org 携帯電話 : 080-4824-9928

【ホームページ】<http://www.normanet.ne.jp/~h-plus/>

通常総会開催

第12回通常総会を令和元年10月22日に京都府立社会福祉会館（ハートピア京都）第4会議室にて開催しました。

出席者は滋賀や富山、神奈川、東京、京都、奈良、大阪から総勢10名の出席がありました。

当日ご出席して頂けなかった会員の皆様には、はがきでの意思表示を頂きまして、ありがとうございます。

司会は徳永事務局長、議長は鈴木代表理事が選出され、令和元年10月21日現在の正会員数93名中委任状数64通、当日出席9名（1名遅刻参加）で定刻午後1時35分から始まりました（議事録署名人・石橋様、岩井理事）。

鈴木代表理事より挨拶が



鈴木代表理事の挨拶

あり、続いて議事を進めました。

議案は4議案提出され、内容については各担当より説明がありました。

第一号議案 事業報告

第二号議案 事業計画

第三号議案 役員選任

（理事の平野嘉男の辞任
理事の石橋壽子の新任）

第四号議案 定款変更

（書面表決を電磁方法でも可能にする）

全ての議案は、出席者総員の賛成多数で承認可決しました。

総会終了後は参加者各人から持ち寄ったお土産をおやつにしながら、交流会を開催し、活発な意見交換が出来ました。



参加者の記念撮影

次回の総会は名古屋都市センターで開催予定です。体調とご都合が良ければご参加下さい。



総会を終えて

鈴木代表理事

ご挨拶

2018年度の通常総会は、つがなく終了しました。

日頃からご支援いただいている会員の皆様、そしてご協力いただいている方々に心より御礼申し上げます。

会の活動につきましては、ハート・プラスマークの普及に邁進していた頃とは裏腹に、ヘルプマークの全国展開が進み、来年の東京オリンピック・パラリンピックをひかえ、益々多くの自治体でヘルプマーク並びにヘルプカードが採用されてきたことにより、ハート・プラスマークを普及するということについてはこの時勢の中で埋没しつつあるというのが本音です。

また、毎年全国のどこかの地域で開催していた交流会も、通常総会と併せて行ったもの以外は、開催することができませんでした。

これまでは、積極的に活動をしていたいただいている方に配慮して、その方が住んでおられる地域を選んだり、行政をはじめ各種団体が当会の支援をしていたいただいているような地域を開催地としてきましたが、前年度は目立った活動はなく支援していただける地域も全くなかったことから、あまり無理して開催するのではなく、新しい参加者が期待できないのであれば中止するのが望ましいと考え、あえて行いませんでした。大変残念で淋しい話ではありますが、運営する側も体力的・経済的な問題もあり仕方なく決断した次第です。

今後は会員の皆様や支援者の皆様から、是非ともわが地元でというお声をあげていただきましたら積極的に検討させていただきますので宜しくお願い致します。

ただ、2019年度は既に福岡県のペースメーカー友の会の方から合同で交流会をや

りませんかというお話をいただいていますので、実現に向けて準備を進めていきたいと考えています。

それと、当会の事業として現在進めている内部障害のことを小中学生に知って理解していただくためのDVD制作が、ようやく完成の一手手前まで来ています。



DVDのワンシーン

概ねの編集が終わった段階で、何人かの小学校教諭の方に見てもらいご意見をお聞きしましたが、どなたも良い印象をもっていたいただき学校現場でどのように使えばいいかというアイデアもあがってきています。



DVDのナレーション録音風景

当会の今後の活動の主軸となるであろうこのDVDの普及が全国に拡大していくようさらに精度をあげて良い作品に仕上げたいと思います。できれば、文部科学省の推薦もいただければとも考えており、来年春の新学期から使用できるように、しっかりと対応していきたいと思っております。今年度は理事の交代もあり、役員一同心機一転、無理をしない程度に今できることを着実に実行していく所存ですので、今後とも何卒ご理解・ご支援の程宜しくお願い致します。

難病1マイルウォーキングに参加

石川康美さん

岡山県難病団体連絡協議会が、難病への理解と啓発活動の一環として昨年

から開催しています。昨年は岡山の後楽園から岡山駅近くのイオンモールまで1.3マイルのコースでしたが、今年は10月27日(日)倉敷市で開催し去年より短く1マイルのコースでした。

ウォーキングコースは集合場所の倉敷駅南口から伝統的な建造物が建ち並ぶ美観地区の倉敷アイビースクエアまでの概ね平坦な道でウォーキングキャンペーンコースとして適所に思いました。当然のことながら、このウォーキングキャンペーンへは難病を患っている方々が

多数参加し集団になり、参加者全員が、ハート・プラスマークがプリントされているエコバックを、通行する人に見えるように肩にかけ、横断幕を先頭のピアサポーターさんの方により掲げられウォーキングが始まりました。天候にも恵まれ出発した時から多少汗ばむ陽気で私の妻の疾患名が判明するまで13年かかったことや服用



ウォーキングの様子
(KBS 瀬戸内放送より)

している投薬の話などをしながら歩きました。

時間の経過は速いもので、観光客でにぎわう美観地区に入ると4〜5人の外国人グループがスマイルで手を振ってくれて歓迎しているようにみえました。

ウォーキングキャンペーン終着地の倉敷アイビースクエアに到着。

全員が無事完歩し全員で喜びを分かち合いました。

岡山難病団体連絡協議会・伊山会長の挨拶の中で『今回もウォーキングキャンペーンを催したことで何人もの人たちが見てくれて関心をもってもらえればと思います。』と結んでいました。

今回の企画実行など若いグループの活動により実施出来たと聞ききました。

参加して難病は幅ひろく奥深い病である事のほんの一部を感じたものの何をどうして良いのか、自問自答しても判りません。

やはり「見た目では普通の人」でも「難病を抱えている・内部障害が有る」人である事への認識・理解を一般社会になかなか浸透しない現実にウォーキングキャンペーンは有効な手段だと思いました



参加賞のエコバッグ

かながわ湊フェスタ2019に参加

石川康美さん

見る！ 聞く！ 体験する！
みんなの市民活動 大博覧会

11月3日(文化の日)に横浜
市神奈川区にある神奈川公
会堂で10時から15時30分
まで盛大に開催され来場者
数は公式発表3000人で
した。

この催しは『ステージ出演
団体』と『体験コーナー&ワ
ークショップ出展者・団体』
の部門が有り、そのうち後
者の部門でさらに『福祉・社
会活動・国際・その他』の部
門が有ります。『ステージ出
演団体』は20の団体が会場
ステージから観覧席に向い
マジックやフラダンスなど
ご自慢の技や歌声を披露し

ていましたが、注目したのは
ママコーラスというコーラ
スグループは親子で出演し
童謡など懐かしい曲を唱歌
し観客は深く聞き入ってし
まいました。

一方、『体験コーナー&ワ
ークショップ出展者・団体』
『福祉・社会活動・国際・そ
の他』の部門として参加した
当会のブースは集結する会
場入口で非常に目立つポイ
ントを提供されました。



当会のコーナー

ワンブース内に掲示パネ
ル・椅子テーブルが用意さ
れ内部障害の意味や支援し
ている事例のポスターを作
成しパネルに掲示、テーブ
ルにはパソコンで内部障害
の内容を説明する画像を放
映していると、来場する人
達は午前中の人の流れはそ
れほどではなかったのです
が午後になるとにぎわい始
め神奈川区長・県会・市会



パネル展示の様子

議員さんの方々に足を止め
て頂きました。

又、全館内を巡るスタン
プラリーが行われスタンプ
ポイントとして当ブースで
もスタンプを押すことも有
りました。

このイベントは来年も開
催予定のようなので、来場
してみても如何ですか？



ステージではマジックショー